

企業・団体単位での情報化施工研修のご案内

～ ICT 建設機械の現地研修 ～

一般社団法人 日本建設機械施工協会

ICTを活用した新しい施工技術である情報化施工は、施工品質の向上や熟練度に左右されない高い精度の施工などを実現する方法として、更なる普及が期待されています。20 年 月、国土交通省が設置した『情報化施工推進会議』は、

施工推進戦略」を提言しましたが、その中でも「人材育成」が非常に重要なことを指摘しています。

一般社団法人 日本建設機械施工協会は、3次元データを利用した建設機械制御に関する実践的な教育により、情報化施工に対応できる技術者を育成することを目的として、「情報化施工研修会」を開催しておりますが、その一環として企業・団体単位での研修を行っております。

研修は下記の内容で実施いたしますので、研修を希望される企業・団体様の募集についてご案内申し上げます。

記

1. 対 象：企業・団体単位で情報化施工に関する研修を希望される企業・団体
2. 場 所：日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所（静岡県富士市大淵3154）
『情報化施工・安全教育研修センター』
3. 研修カリキュラム（Aコースの場合）

第1日目（午前）		第2日目（午前）			
10分	① 講 義	オリエンテーション	90分	① 講 義	マシンコントロール用設計データの作成（3）（専用ツール、三次元CADの利用によるTINデータの作成）
30分		情報化施工の動向			
60分		マシンコントロールシステムの概要	120分	② 実 技	マシンコントロールのハード設定（現場実習）
40分		締固め情報化施工とTS出来形管理の概要			
第1日目（午後）		第2日目（午後）			
40分	① 講 義	情報化施工と管理要領 等	180分	② 実 技	MC、MG、TS出来形管理 施工実習（現場実習） ①モータグレーダ ②ブルドーザ ③振動ローラ ④油圧ショベル ⑤TS出来形管理
60分		マシンコントロール用設計データの概要			
90分		マシンコントロール用設計データの作成（1）（路線データによる作成演習）			
40分		マシンコントロール用設計データの作成（2）（TINデータによる作成演習）			
30分		質疑、終了			

・上記カリキュラムはAコースのメニューであり、研修カリキュラムの追加、省略等をご希望の場合はご相談下さい。

・諸般の事情により内容を変更する場合があります。

4. 研修コース

コース名	相違点	受講費用 (消費税別)	備 考
Aコース	・講義及び実技の講師、テキストをご用意し、研修を実施致します。	90万円	○ のキャリア形成促進助成金 に基づき、受講料及び賃金の助成を受けられる場合がありますので、都道府県 等でご確認いただくことをお勧め致します。
Bコース	・研修フィールド及び研修用資機材を貸与致します。 ・講義、実技の講師、テキスト等は各企業・団体様でご用意下さい。	70万円	

・受講者数は25名程度までを基本とします。

・研修日数は2日間を基本とします。開催日は、お客様のご希望される日程で、調整させていただきます。

・主にニコン・トリンプル社製又はトプコン社製のシステムを使用しますが、システムについてご希望等がありましたらご相談下さい。

・受講費用には、建機・機材のレンタル費、パソコン利用、傷害保険などの費用が含まれていますが、宿泊費、食事代は含みません。

・カリキュラム内容の変更等に伴い、受講費用が変動する場合があります。

・ヘルメット、安全チョッキは当方で準備します。なお、実習の際は安全靴の着用をお願いします。

・「修了証」を希望される場合は、ご相談の上発行致します。

・職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センターの宿泊施設を格安で利用できる場合がありますのでご相談下さい。

・その他ご要望等がございましたらご相談下さい。

5. お問い合わせ先：一般社団法人 日本建設機械施工協会（担当： ）

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8（機械振興会館）

TEL：03-3433-1501 Fax：03-3432-0289 E-mail:kawata@jcmanet.or.jp

又は、一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所

TEL：0545-35-0212（担当：研究第三部 上石、総務部 引地）

6. お申込み方法：HPから参加申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、メールまたはFaxにてお申込み下さい。



受講風景



実地研修場所全景